

身体障害者診断書・意見書（じん臓機能障害用）

総括表

氏 名	年 月 日 生 () 歳	男 ・ 女
住 所		
① 障害名（部位を明記）		
② 原因となった 疾病・外傷名		
交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災 自然災害・疾病・先天性・その他 ()		
③ 疾病・外傷発生年月日		
年 月 日・場 所		
④ 参考となる経過及び現症（エックス線写真及び検査所見を含みます。）		
障害固定又は障害確定（推定）		
年 月 日		
⑤ 総合所見		
[軽減化による再認定 要 ・ 不要] [再認定の時期 年 月]		
⑥ その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断し、併せて以下の意見を付します。		
年 月 日		
病院又は診療所の名称		
電 話 ()		
所 在 地		
診療担当科名		
科 医師氏名		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見		
障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に		
・該当する () 級相当)		
・該当しない		
※「該当する」「該当しない」の選択及び意見等級は、必ず記入してください。		
注 1 障害名には、現在起こっている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。		
2 総合所見には、今後の症状変動の可能性（重度化・軽減化）や、軽減化による再認定の必要性（必要な場合はその時期）も必ず記入してください。		
3 障害区分や等級決定のため、改めて身体障害者診断書・意見書の記入内容について問い合わせる場合があります。		
4 程度変更に伴う再申請については、新しく追加となる障害内容の記入のみではなく、現在の手帳の障害内容についても障害が存在していれば、併せて診断書に記入してください。		

じん臓の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲んでください。)

1 じん機能 (年 月 日)

- ア 内因性クレアチンクリアランス値 (ml/分) 測定不能
イ 血清クレアチニン濃度 (mg/dl)
ウ 血清尿素窒素濃度 (mg/dl)
エ 24時間尿量 (ml/日)
オ 尿 所 見 ()

2 その他参考となる検査所見 (年 月 日)

(胸部エックス線写真、眼底所見、心電図等)

3 臨床症状(該当する項目が有の場合は、それを裏付ける所見を右の〔 〕内に記入してください。)

- ア じん不全に基づく末梢神経症 (有・無) []
イ じん不全に基づく消化器症状 (有・無) [食思不振・悪心・おう吐・下痢]
ウ 水分電解質異常 (有・無)

Na	mEq/l	□	K	mEq/l
Ca	mEq/l	□	P	mg/dl
浮腫・乏尿・多尿・脱水・肺うつ血				
その他 ()				

エ じん不全に基づく精神異常 (有・無) []
オ エックス線写真所見における骨異栄養症 (有・無) [高度・中等度・軽度]
カ じん性貧血 (有・無)

Hb	g/dl	□	Ht	%
赤血球数		×10 ⁴ /mm ³		

キ 代謝性アシドーシス (有・無) [HCO₃ mEq/l □]
ク 重篤な高血圧症 (有・無)

最大血圧/最小血圧
/ mmHg

ケ じん不全に直接関連するその他の症状 (有・無) []

4 現在までの治療内容

[慢性透析療法の実施の有無(回数 /週、期間)等]
[導入年月日 年 月 日]

5 日常生活の制限による分類

- ア 家庭内での普通の日常生活活動又は社会での極めて温和な日常生活活動については支障がなくそれ以上の活動でも著しく制限されることがないもの
イ 家庭内での普通の日常生活活動又は社会での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動は著しく制限されるもの
ウ 家庭内での極めて温和な日常生活活動には支障がないが、それ以上の活動は、著しく制限されるもの
エ 自己の身の周りの日常生活活動を著しく制限されるもの